

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年4月分)

中学・高校生年代～若者

番号	ご意見	市の考え
1	誰でも野球ができるくらい大きな作って欲しい、陸上競技場を作 て欲しい	【野球場および陸上競技場について】 野球場を新設する予定は現時点では、ありませんが、市内には津球場公園内野球場や安濃中央総合公園内野球場、また、久居グラウンドや一志グラウンドなど、野球がで きる大きなグラウンドもありますので、ぜひご利用ください。 また、陸上競技場に関しては、海浜公園内陸上競技場を市レベルの陸上競技の大会 や記録会が開催可能な公認陸上競技場として、また多目的なスポーツが実施できる フィールドを備えた施設として、令和10年秋頃のリニューアルオープンに向けて改修工 事を実施しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。 津市ホームページ「海浜公園内陸上競技場改修事業」 https://www.info.city.tsu.mie.jp/kankou_bunka_sports/sports_shinkou/1004402/1004453/1004456.html スポーツ振興課(059-229-3254)
2	三重大学病院前の歩行者用信号の青信号の時間がかなり短くて、 利用者が渡りきる前に赤に変わってしまうことが多いです。特に病院 を利用する高齢者や子ども連れの方には厳しいと感じました。もう少し 余裕のある設定にしてもらえると安心だと思います。	【信号機の設置・設定について】 信号機の設置・設定などの交通規制は警察の業務となります。 いただいたご意見は、所管する津警察署に市からもお伝えしました。市民交流課 (059-229-3142)
3	歩道や自転車の通る場所の段差をなくしてほしい	【道路整備について】 津市ではバリアフリーの考え方にに基づき道路整備を進めています。また、市民の皆さ んに安全に通行いただくために、日々点検や修繕を行っておりますが、今後も市民の皆 さんの安全を守るため、交通安全対策をはじめ、現地の状況に応じた丁寧な対応に努 め、歩行者や自転車に乗っている方、お子さまやお年寄りまで、誰もが安全で安心に通 行できる道づくりを進めていきます。建設整備課(059-229-3195)
4	2つあります。町屋海岸の駐車場の横のトイレがもっときれいになれ ばいいのになと思います。理由はゴミはすくなくてきれいなのに、いつ も臭くて、トイレトペーパーがなく、せっかく綺麗な海岸の景観を損 なうからです。トイレについては清掃頻度を上げてほしいです。 また町屋海岸のよこに海水をくめる施設を作ってほしいです。砂浜か ら帰る際の足洗い、バーベキュー客が簡単に消火できる水をくめる、 学校教育や官民の研究活動にも使えるからです。このほか、市民の 趣味の海水魚飼育にも使えるそうです。これこそ、トイレ横にあれば、万 が一詰まった際にも流せそうな気がします。	【栗真環境公園のトイレ清掃および町屋海岸の整備について】 ご指摘いただいたトイレはおそらく、栗真環境公園のトイレかと思いますが、栗真環境公 園のトイレ清掃および町屋海岸の整備については、管理者である三重県津建設事務 所 総務・管理室(管理課)(電話:059-223-5203)へお問い合わせください。今回 いただいたご意見は三重県の担当課にお伝えしました。こども政策課(059-229- 3390)

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年4月分)

中学・高校生年代～若者

番号	ご意見	市の考え
5	保育利用料について、3歳以上は無償化ですが、0～2歳が津市で自己負担があります。 0～2歳も無償化されると、結婚や子を持つこと、2人目を産むことに抵抗感が減ると思います。 わたしは大学院生なので、近い将来社会にでて、結婚や家族を持つことを希望しますが、強い不安感があります。なので0～2歳も無償化など、子育て支援も手厚く、さらに多様な就職先がある東京都での就職に魅力的に感じています。 普通の所得の大人でも、物価高などで、ひとり暮らしが厳しい昨今ですが、0～2歳も無償化が実現すると、結婚したり子供を持つ選択ができる人が少しでも増えるのではないかと思います。また、三重県内の他の市町村や近隣県で行っていないことなので、大学生や若者世代が津市に留まる・津市を選ぶ魅力的な政策になると思います。 保育園に預ける大多数の人は共働き世帯で、1歳の誕生日以降、育休復帰が前提にあります。なので、確実に1～2歳の負担が減ることになると、少なくとも経済的な心配事だけでも軽減できると考えます。ぜひご検討ください。	【保育利用料について】 津市では、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化により、幼稚園、保育所、認定こども園を利用する3歳から5歳までの全てのこどもと住民税非課税世帯の0歳から2歳までのこどもの保育料を無料としています。それ以外の0歳から2歳までのこどもの保育料については、保護者の市町村民税所得割額によって決定し、徴収することとしています。 なお、この保育料の設定に当たっては、国の基準より細かく所得の階層を設けるとともに、国の定める利用者負担の上限基準の60～70%の金額に設定し、子育て世帯の負担軽減を図っています。また、多子世帯やひとり親世帯については、国の基準に合わせて保育料の負担軽減を行っています。保育こども園課(059-229-3167)
6	国道23号沿いの歩道の整備をして欲しい。とくに三重大学前から津駅前あたりの下り車線が凹凸が多く、自転車だけでなく徒歩でも躓きやすくなっている。また、歩道の幅が狭いため自転車が国道を走行しなければならなく、大学生やその他学生が多く通行するため危険だと思う。歩道を広くして上り車線同様に自転車専用の色付けをするか、車道に自転車専用道路を設け線で示してほしい。	【国道23号沿いの歩道について】 三重大学～津駅間の国道23号は国において歩道に自転車通行空間の整備がなされています。三重大学付近においては、上り線側で自転車が対面通行となるように整備されているため、自転車での走行の際は上り車線側の通行にご協力お願いいたします。 なお、国道の異常等を発見された際には、津国道維持出張所(059-229-2390)、道路緊急ダイヤル(#9910)もしくは「ライン通報アプリ」へ具体的な場所及び内容をご連絡いただくか、市を通じて道路管理者へお伝えすることもできますので、津市事業調整室までお知らせください。事業調整室(059-229-3134)

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年4月分)

中学・高校生年代～若者

番号	ご意見	市の考え
7	どんな企業があって、どのようなことをして、どんな人材を求めているのか分かりづらい。もっと企業が学生にアプローチして欲しい。アプローチしやすい環境を作って欲しい。大学卒業後の地元離れの原因になっていると思います。	【津市における企業情報発信の取り組みについて】 津市では、学生の皆さんや地元での就職を希望される方が、市内企業の魅力や求める人材などについてより深く知ることのできるサイトの紹介を行っています。 ■「みえの企業まるわかりNAVI」のご紹介 三重県が県内の企業情報を掲載しているポータルサイトです。「どんな企業があるのか」「どんな人材を求めているのか」といった情報を、業界や特徴から検索することができます。 みえの企業まるわかりNAVI https://www.oshigoto.pref.mie.lg.jp/kigyonavi/（外部サイトへ移動します） 現在、津市では三重県の実情を把握し、当該ポータルサイトに記載されている市内企業を抽出した画面へ遷移できる二次元コードを紹介するチラシやカードを県内大学・短大のほか、首都圏や関西圏の大学、移住希望者へご紹介しています。 また、未掲載の市内企業へは随時掲載のご案内をさせていただくなど、津市内のより多くの企業の魅力発信に努めています。ぜひ一度、サイトをご覧ください。経営支援課(059-236-3355)
8	平日の午前8時ごろの公共交通機関を充実させて欲しいと思います。理由は、この時間帯の電車が大変混雑しているからです。	【一般路線バス及び鉄道について】 一般路線バス及び鉄道については、民間の運行事業者によって運行されていますので、いただいたご意見については、それぞれの運行事業者にお伝えいたします。交通政策課(059-229-3289)

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年4月分)

中学・高校生年代～若者

番号	ご意見	市の考え
9	三重大～津駅あたりの23号線沿いを自転車で通行する際、車道は車に近すぎて怖い、歩道は法改正によって通行しづらく(できなく)なった。なお、23号線に限らず、歩道が道路より1段高く作られているために、歩道を横切るように道路が敷いてある箇所は急な段差が出来てしまっている。そのため歩道は自転車が非常に漕ぎづらい。歩道を自転車用に整備するか、道路に自転車専用レーンが欲しい。	【国道23号沿いの歩道について】 国道23号の歩道については、歩行者の交通安全対策の観点から、車道を走る車両の車線逸脱防止及び歩道への車両乗り上げ防止のため、国において車道より歩道が1段高く設置されています。また、三重大～津駅間の国道23号は歩道に自転車通行空間の整備がなされていますのでそちらの利用をお願いいたします。 歩道の自転車通行化や自転車レーンの設置に関する要望は、法的な制約や道路の幅員(道路の広さ)、さらには交通ルール上の安全基準が大きく関わります。現在、津市では、地域の皆様からの様々な要望を総合的に勘案し、限られた予算の中で優先順位を定めて道路の改修を計画的に実施しているところであり、このため、道路事業による早期対応が困難な状況ではありますが、交通安全対策等、状況に応じて対応していきたいと思います。 なお、国道の異常等を発見いただいた際には、津国道維持出張所(059-229-2390)、道路緊急ダイヤル(#9910)もしくは「ライン通報アプリ」へ具体的な場所及び内容をご連絡いただくか、市を通じて道路管理者へお伝えすることもできますので、津市事業調整室までお知らせください。事業調整室(059-229-3134)、建設整備課(059-229-3195)
10	学生が無料、または安く利用できる勉強できる場所があれば嬉しいです。図書館はありますが駅から少し遠いので、駅に近い場所で自習スペースがあると利用しやすいです。夜22時頃まで使えるとより便利だと思います。	【津市内図書館における学習スペースについて】 比較的駅に近い、津図書館、久居ふるさと文学館のほか、河芸図書館、安濃図書館では、学習室を設けて、自習にご利用いただける席を提供しております。また学習室はないですが、一志図書館、うぐいす図書館、芸濃図書館、きらめき図書館にも学習可能なスペースがあります。津図書館(059-229-3320) 【文化施設における学習スペースについて】 久居アルスプラザ(近鉄久居駅から徒歩約11分)では、館内の共有スペースの一部で自習等を行っていただける場所があります。開館時間は8:30～22:00、休館日は毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)及び年末年始(12月29日から翌年の1月3日まで)です。文化振興課(059-229-3250)

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年4月分)

中学・高校生年代～若者

番号	ご意見	市の考え
11	市の中心部となるべき場所が分散しており、町としての魅力度が低い。津市を出て県外の大都市に出ていきたいとなるし、将来津市に戻って暮らそうとは思えない。 街の魅力度が低い理由は、市役所や百五銀行や松菱・大門の飲み屋街がある丸の内・岩田橋周辺と、三重交通・大手金融機関支店や県庁がある津駅周辺に、町の中心点が分かれてしまっている。中心点が曖昧であり、人の流れが散漫としており、日本国内でも有数の寂れた県庁所在地になってしまっていると感じる。公共交通機関に関しても、津駅と津新町駅の二つに分かれてしまっており、さらに津新町駅はJRが通っていないことから利用をしづらい。行政機関を移転させることは難しいとしても、近鉄四日市駅のように、駅の周辺に少なくともオフィスと商業施設を集約した方が街としての魅力度が向上するように思う。しかし、現在の津市は津駅周辺と丸の内・岩田橋周辺の再開発をそれぞれ進めており、ただでさえ少ないリソースを分散させてしまう計画であり、二正面作戦を採っているように見える。市の中心をどちらかに決めて機能を集約することで、津市の中心を定義し直し、中心部から周辺に人が回遊していくような街づくりをした方が魅力的な街になると考える。現在の再開発計画にはそのようなランドデザインが欠けており、バスタ等の箱モノや、目指す姿の定義が曖昧な(当たり障りが無い、当たり前のことしか述べられていない)大門の再開発計画といった、場当たりの計画を進めているようにしか見えない。今一度津の街をどのようにデザインするのかという点に立ち返り、議論を進めていただきたい。正直に申し上げて、県外の方との結婚に際して、「津市に帰って一緒に住もう」と言える街ではないので、また戻ってきたくなる街にして欲しい。	【津市の都市づくりについて】 本市の都市づくりにつきましては、都市計画法第18条の2に基づき、都市の将来像や整備方針等を明確にするため、平成30年に策定した「津市都市マスタープラン」に沿って進めています。 本マスタープランにおいては、少子高齢化に伴う人口減少、自然災害の多発、またインフラ・施設の老朽化等を踏まえ、今後の都市構造は、鉄道駅などの移動利便性の高い拠点に都市機能が集積し、その周辺に良好な生活サービス機能が確保された居住地を形成することで、都市のコンパクト化を図る多極ネットワーク型コンパクトシティの構築を目指すこととしています。また、本マスタープランにおいては、ご意見をいただきました津駅周辺、大門・丸之内地区を含む津新町駅周辺についてはいずれも、本市の顔であり行政・医療・商業・交流等の多様な都市機能が集積する都市拠点として位置づけ、将来にわたって市民や来訪者が都市的サービスを楽しむことができる中心的な核として、既存ストックを活用しつつ、更なる都市機能の誘導を進めるとともに、県都としての魅力を高めていくため、それぞれのエリアにおいて整備充実を図っています。 その取組として、津駅周辺においては「津駅周辺基盤整備(ビジョン)」に基づき、官民連携によるにぎわい・滞留空間の創出、駅を中心とした東西連携の強化、駅とまちなかの回遊性の向上、駅周辺の交通結節機能・防災機能の充実・確保に向けた取組を進めておりますし、また大門・丸之内地区においては、「津市 大門・丸之内地区未来ビジョン」に基づき、本市も参画する官民連携組織「エリアプラットフォーム大門・丸之内未来のまちづくり」が、立町・大門大通り、お城公園、観音公園等の活用検討、空き家・空き店舗の活用、地域が一体となった情報発信(HP・SNS等を活用した魅力発信、デジタルマップによる回遊促進)などの取組を進めています。 なお、津市都市マスタープランにつきましては、令和10年の改訂を予定していることから、今回のご意見も参考とさせていただき、今後の都市づくりに向けて策定を進めていきます。都市政策課(059-229-3181)

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年4月分)

中学・高校生年代～若者

番号	ご意見	市の考え
12	先日役所に訪問した所、廃校となったグラウンドの使用に対し、有料になる可能性があると言われました。体育館等の照明料金が必要な場合は利用料を請求するのは理解なのですが、グラウンドに利用料を請求するのは理解が出来ません。もし、有料になったとしたらグラウンドに遊びに來ただけのかわいい子供たちにも請求するのですか？グラウンドを使用しているというのは同じですが。本当に地元の施設を使われなくなりますよ！	【旧学校体育施設の利用について】 旧学校体育施設をご利用いただく場合、利用に伴い必要となる電気、ガス、上下水道等料金の一部について、利用団体に経費負担をお願いしています。 ご意見いただきました屋外運動場(グラウンド)に関しては、屋外照明を利用される場合のみ有料(1時間当たり500円)となっています。一志総合支所 地域振興課(059-293-3140)、財産管理課(059-229-3125)
13	三重大学から津駅周辺の歩道の段差をなくしてほしいです。自転車で通過するとき、歩道と車道の間の段差が大きく、揺れて荷物が落ちたり、転けそうになったりすることが困っています。車いすの方にとっても大きな問題だと思うので改善してほしいです。	【国道23号沿いの歩道と道路整備について】 国道23号の歩道については、歩行者の交通安全対策の観点から、車道を走る車両の車線逸脱防止及び歩道への車両乗り上げ防止のため、国において車道より歩道が1段高く設置されています。また、三重大学～津駅間の国道23号は歩道に自転車通行空間の整備がなされていますのでそちらの利用をお願いいたします。 歩道や自転車道の段差解消に関する要望は、バリアフリーや交通安全の観点から非常に重要なご指摘です。一方で、現在、津市では、地域の皆様からの様々の要望を総合的に勘案し、限られた予算の中で優先順位を定めて道路の改修を計画的に実施しているところです。このため、道路事業による早期対応が困難な状況ではありますが、交通安全対策等、状況に応じて対応していきたいと思ひます。 なお、国道の異常等を発見いただいた際には、津国道維持出張所(059-229-2390)、道路緊急ダイヤル(#9910)もしくは「ライン通報アプリ」へ具体的な場所及び内容をご連絡いただくか、市を通じて道路管理者へお伝えすることもできますので、津市事業調整室までお知らせください。事業調整室(059-229-3134)、建設整備課(059-229-3195)

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年4月分)

中学・高校生年代～若者

番号	ご意見	市の考え
14	①高校に食堂があると親子で助かります。共働き、片親家庭が多い中、親が大変大変と言ってるのを聞くのも辛い。栄養面、量を考えてもあってほしい。 ②津高、津西高、津東高も制服にしてほしい。コスト面で助かります。何を着ていくか迷う時間が短縮になると思います。 ③中学も給食費、実質無料にしてほしい。 ④学用品も無償化になってほしい。体操服が高くて、汚くなって買ってもらえない。絵の具セット類も貸出にしてほしい。	①【県立高校の食堂の導入について】 県立高校の食堂の導入については、三重県学校経理・施設課(電話:059-224-2955)にお問い合わせください。いただいたご意見は市から三重県の担当課にお伝えしました。こども政策課(059-229-3390) ②【県立高校の制服について】 県立高校の制服の有無については各校の校則で定められています。各校もしくは三重県教育委員会事務局生徒指導課(電話:059-224-2332)までお問い合わせください。いただいたご意見は市から三重県の担当課にお伝えしました。こども政策課(059-229-3390) ③【中学校の給食費について】 中学校の給食費については、国の学校給食費負担軽減の対象とはされていないため、給食費をご負担いただいておりますが、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、平成28年度から給食費の据置き(月額4,800円)を継続することで、物価高騰による子育て世帯の負担軽減を図っています。 中学校給食費の抜本的な負担軽減については、早期に実現するよう国に働きかけていきます。教育総務課(059-229-3246) ④【学用品費等について】 経済的な事情により学用品費等の費用の負担が難しいご家庭については、津市就学援助費制度により援助を受けられる場合がありますので、現在通学している津市立学校又は津市教育委員会までご相談ください。学校教育課(059-229-3245)

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年4月分)

中学・高校生年代～若者

番号	ご意見	市の考え
15	市民が安心して暮らせる市を作る! 津駅などのたくさんの人が利用する場所を綺麗にスッキリした場所にして欲しい 津駅西口や東口の駐車場やバス停、タクシー駐車場がややこしく、危ない	【津駅周辺整備の現状と今後の取り組みについて】 津駅については竣工後約50年が経過し、時代とともに利用形態も大きく変化する中で、現在、その姿を変える取り組みを進めているところです。 東口においては、バスやタクシーなど多様な移動手段を集約する交通ターミナルの官民連携による整備に向けた国によるバスタプロジェクト調査が進んでおり、津市としても、この上部空間の効果的な活用を目指し、調査・検討を進めるなど、都市拠点としての魅力向上に向けた取り組みを進めています。 西口は、市民や利用者の皆さんのお声を踏まえ、バス・タクシー・一般送迎車などによる混雑を緩和し、安全性の高い空間へと再編すべく、今年度より駅前広場の工事をスタートします。 駅東西を結ぶ自由通路は、安全・安心に、かつ快適に往来ができ、効率的な乗り換えが可能となるよう、津市が再整備を行う計画です。 これら津駅周辺における基盤整備に、国・県・市が緊密な連携のもと、一体となって取り組み、利便性が高く、にぎわいある、県都にふさわしい玄関口の実現につなげていきます。建設政策課(059-229-3194)